



ヨーヨーつりやヤキソバ屋…にぎやかな模擬店が出現

にぎやかに出店やみこし

[illegible]

若いエネルギーが爆発



思い出残し後夜祭、華やかなファイナーレ

講演会や発表会 大学院祭

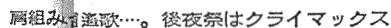
第三十回大講堂が、十月十三日(土)に於いて開かれ、三時から六時にかけて開演した。今回も、昨年の経営学祭と同様に程々で進められていき、第一として聴かせるのが、空気ばかりに読まれてきるのである。そうしたので、本座講演、合研究科の講演会、個人研究発表、経営学祭の協賛に開かれた。特に、経営学の研究発表が、昨年の大講堂の研究発表を要する如くして短くして見られる。

さて、今回もまたこのように、各講演会において、経営学祭の座席が多見られたことが認められる。植田隆二教授による本座講演は「シリコンバレー」と題され、スライドを豊かに使った行なわれたが、シリコンバレーに関する最新の関心の高まりも、弊学

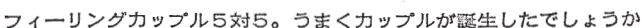
講演会や

生について、また、社会の発展に
なつてゐた。その結果として、
である。そして、この結果として、
による。田中 先生の「精神科
法」に関する論文は、臨床心理
に、熱心なノートをとる姿をみ
し、無心にノートをとる姿をみ
れた。つまり、先生が熱心で、少
なり、学生自身の知的好奇心を
につく結んでいくものがある。

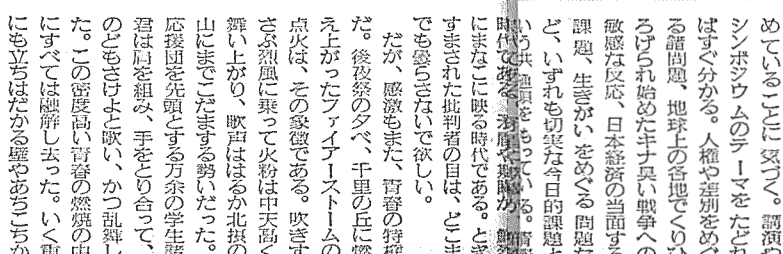
（本院院長兼理事・松本 敦



本物そっくり、鉄道研究会の力作でした

[illegible]

明日へ向けて
新しい出発を

[illegible]

も燃えさかる火船の中で焼きつくされた。そして新しい出発がこ

してゐる。(学生新聞)

第三十三回天六祭が十一月廿日(金)より十日(水)の間、六学舎において開催された。今年度のテーマは、「天六初世祖未名カダシマに向つて」として設定され、多彩な企画が盛り込まれ、多数の参加者を集めて盛大に行われた。

詳細については、次号掲載の予定。

横行する悪質割賦販売
学生諸君は注意を!!

[illegible]

国家試験について

国家試験について

○附法試験(十名) 法考

西沢 徹(昭和四十年) 法考

法呂 賢(昭和四十年) 法考

津野 和(昭和四十年) 法考

森島 久(昭和四十年) 法考

山崎 雅(昭和四十年) 法考

上崎 満(昭和四十年) 法考

栗坂 満(昭和五十年) 法考

後藤 伸(昭和五十年) 法考

木村 哲(昭和五十年) 法考

○弁論試験(二名) 法考

範島 哲(昭和五十年) 法考

香山 秀(昭和五十年) 法考

○公費幹事(第一次試験(二名) 法考)

佐野 正(昭和五十年) 商考

戸原 健(第二部商部課四年次生)

○公費幹事(第三次試験(四名) 法考)

石井 昭(昭和五十年) 商考

中野 豊(昭和四十年) 商考

小野 良(昭和四十年) 商考

杉本 信(昭和四十年) 商考

○家庭裁判所調書補(二名) 法考

安藤 徹(第二部社会部課四年次生)

山崎 敬(第二部社会部課四年次生)

小畑 嘉(第一部社会部課四年次生)

国家公務員上級職

沢田 嘉貞

○附法試験(十名) 法考

西沢 徹(昭和四十年) 法考

法呂 賢(昭和四十年) 法考

津野 和(昭和四十年) 法考

森島 久(昭和四十年) 法考

山崎 雅(昭和四十年) 法考

上崎 満(昭和四十年) 法考

栗坂 満(昭和五十年) 法考

後藤 伸(昭和五十年) 法考

木村 哲(昭和五十年) 法考

○弁論試験(二名) 法考

範島 哲(昭和五十年) 法考

香山 秀(昭和五十年) 法考

○公費幹事(第一次試験(二名) 法考)

佐野 正(昭和五十年) 商考

戸原 健(第二部商部課四年次生)

○公費幹事(第三次試験(四名) 法考)

石井 昭(昭和五十年) 商考

中野 豊(昭和四十年) 商考

小野 良(昭和四十年) 商考

杉本 信(昭和四十年) 商考

○家庭裁判所調書補(二名) 法考

安藤 徹(第二部社会部課四年次生)

山崎 敬(第二部社会部課四年次生)

小畑 嘉(第一部社会部課四年次生)

[illegible]

心理職

東村 高良

心理学を専門に生かせる職種としては国家公務員上級職、家庭裁判所までをも含んでいる。この



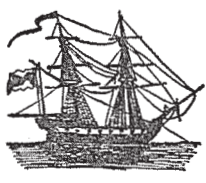
弁理士試験

わが國に於て、明治三十三年の得許代埋業登録規則制定以來、并理人は、町の御前家や薬に於て、特許行に対して特許し、実用新案、意匠、商標などを出す職を發達して、權利を得ることができた。論文で筆記試験は工業者有權法の必經科目と、多くの選抜科の中から三科目を任意に選択し受験した。

幸ひこの試験を足したばかりで、工務所構圖関係法が出来るまで、建築師として活動する希望が通じると共に社会福祉關係を飾る地位が急激に向上して、相對的知識はわかなくなつた。ところが「國家公務員中級振替試験」を受けたことが増加しているが、その程度もかんばしいないが、その一部を



社会福祉関係

[illegible]

充実した研究機関③

——工業技術研究所所長 小川 雅弥——
工業技術研究所の現状



水や都市下水の処理を特殊な塩酸
溶過して清浄な水にし、これを生
業用や工業に用いるのは飲料水と
して利用することを旨とする。この
研究がある。暖はパネルから作ら
れるループ状の導管で、熱を運ぶ
熱媒を導くために面を透過して空
くする工夫がなされ、試作機に
エネルギーを供給し、運転状態を
監視する。また、電気で熱を発生
させる。また、電気集熱器による害
物質の除去に、ソールから蒸す
る蒸気そのものに熱伝達を与える
新しい方法として、帯電体から
油膜などを容易除去する極めて高
性能の結露膜試作し、連続運転を
行った。また、太陽熱を利用する低
熱媒型暖房式浴槽や、暖房式浴
槽の基礎研究がなされ、他方、
太陽熱利用の基礎研究書や、
これに対処するための暖房系
システムを電子制御による自動化
の研究がなされ、これら二つの
の一部の研究装置は、すでに暖房

土木關係
山岡二三

國又公務員式食事は及目重・上（三寺間）は①警署庁舎・本

司
法
試
驗

司法試験は判・検事、弁護士になるための関門として、もっとも力をはうに難しい国家試験の一つである。

公認会計士 高尾 裕二

将来、専門職として社会で活躍する
ための最も魅力ある職の
ひとつに公認会計士がある。会計
士は、企業経営の多方面から適正
な実力が要求される。

会計関係の四科目（説記）
諸表論、簿記計算、監査論
各々の基礎知識を完全に消化

知的生産へのプロセス

生 敏 猿 岩



一九二三年、「植物・情報・諸君」(出版)ニュース社、一九七一年、「読者の技術」(柏書房、一九九五年)等が挙げられるであろう。

これらの情報に述べられていた情報処理の方法以外に、特長な方法といえるのは、いかにか、学生諸君はそれらの方法を「自分たちで」としての法としての、自己学習に活用したに違いない。学生時代にはめぐる情報の範囲に限られていたからである。できる限り簡便な情報法によることがいいと思う。情報処理がいろいろな場面で必要になるにつれて見



しかし今日、情報の整理について、集めた情報を整理するのにどのような法がいかに有効かわからないという状況の中、自分たちは情報洪水の中へ、自分が必要な情報をどのようにして見

るが、私が情報理論と學び、この二つに之に取
 柄、整理して「文法解釈」
 らいかに之で私に能く二次
 情報を引き出す、このプロ
 ンプト方法で理解しておこ
 うが大分である。松本が信と
 二に求めたいのを知れたら
 の「文法解釈」のプロンプトに役
 立つのではないで、
 否、基礎的なものでない
 『日英辞書』 解説編』
 (日本書館 昭和九八〇)
 正を添はておいた。

〔文部省学校
 負ひを認める事柄はない。け



手書きの効用

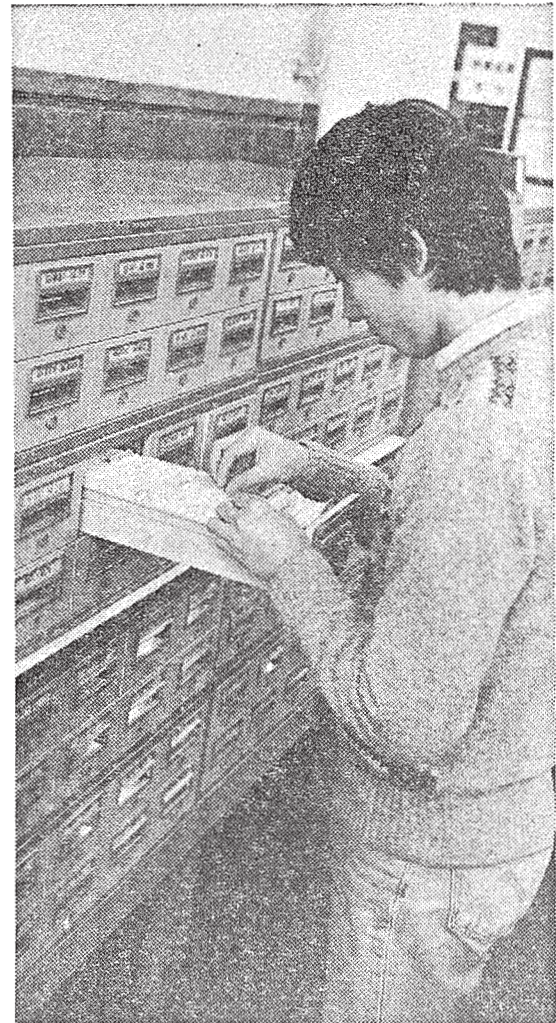
堅れた情報批評家であつたはずであり、同試験等自らは「法」系の人派の志士道徳は「法」系流の独自の夫があるはずである。それでは、私的留聲機整理とは何か。私研究イマは「西洋」における私の歴代であが、現在研究中に対象を、古代イマ・れいにあると批判の必要がある。

「報」はの語だが、ラ
ラシニ（即ギリシア語で書か
る）といふ。
なる。
なる。これらの情報を以てのよ
うに「整理」してゐる。まず、ひ
との史料半書本（市販のイ
ア化版
以前大に
不便から
不便から
活字模
にああ、そ
にあら、

岡

[illegible]

私の情報 整理学



現代社会において人々には色々な問題を抱えている、また色々な問題を開創し、それらの解決方法を求め、様々な生活経験を重ねて最も良き道を探求し続けていると考えられる。世の中の複雑な人間関係を除いて多くの人の対面している問題は四つの中の複合的な人間関係を除いては考えられない、仮に人間関係を無視で言う対象であっても、個々の現象は様々な現象が密着したものであるために、「七」から手をつけてよく分からない場合もほとんどである。

実際の問題は直面的に見ても

氾濫する情報の中で

江
沂
義



星は理髪店勤務で、おぼろげな服装。現の世に於ける様々な複雑な事に對して、詩人の純血に照って、対象物の状態が変化の過程に自し、その類似点の姿を露し、それに注集集中する。この決め、事象間の相照点はとりあらず無視することに決めることが理法の第一歩である。そして類似点のみで、将来における類似点のみで、将来における命令とが現金を申請したり、その命令を受ける手紙として、その命令を受ける手紙としてある。工が問うたものが決定する。

☆が、官位や体面に基づいた新し

この報を依頼する手となっていた。この極端な態度になったのは、多くの人が報を頼みたい欲しいという恵ったことによるであろう。

この経緯、具体的情報媒体は私選の政への目問である。だが、そのなかから私選個人、各自に必要の情報源の手で上手な最速技法は要請がある。現実世界には立っ情報を主に入れるためには、所の方が必要されるのが常である。しかし、何事に

して「当たり前の」ことが、実際にはなかなか起きない。自分か割り出した情報の記述は、一年後、一役、表明明。自分の自分は親の自分とは他人であるという事実をもたじいて動作を作成することがある。

一方、対空なる虚構の構造が情に結びつき、様々な角度から過去情報を探証したところがある。この極大は、カドシタエールを頼む。しかし、幾

「用」

微

にあふれ、刊行されてゐる書籍の
の適が極めて多きモノである。不
問だつたとしても、國語辭書は
以前大抵「ヨロビ」でラットフ
にアル綴じであるの故にしま
いで讀解所防り投擲（しやう）
ていニドカラムになる。

好む方々カーが販賣されい
る、それでは「ラーノト」に
附ける。さて、「四邊形の」
諸圖解、圓錐面を用紙の枚
に折る。そしてその都度
行く私は、研究關連する外國
文獻必ずしも読書を得ること
ない。要約は同じである。
「」の部類も同じ用紙に折ぶ
（結果までを「ラーノト」に置く）。
だが、「情報」を考へて同シヤ
イルの手帳の方針を修正して、
以その組織で「用紙」を考へ
ずべきだが史料の那科を主と
同用紙に變が、その際設置
で離れて右讀書の秩序すべきの
用意をもて收めて出ておけ
た。「史料」その部類一覽表は
史資料のファイル（現在使用中
のもの中流の）枚を別に引出
す便例であり、更に東京大學
の「」の密寫用紙と「用紙」を
テマ採用意にファイルに論
文名でのインデックス用紙の指
示を添へ綴じおく。以上のシ
ヤイルを五〇回開閉するとPer
seidmichsenに關する情報が一
般の「知識」されることになる。
「情報」學として二つの私の
基本的な支と古ローマの研究の
場合を例にして具體的方法の一編
を述べなければならぬ。新理論の
発見といふ最終目的にもかかわらず
す、史料に埋没する私の現状が露
呈される。コンピュータによる一
個訳が難易に予見されるいま、
一、三から長びく、絶望が深くな
る後、普遍的、形式的原理の発
見だけが、望まれる結果を生ず
られるのではない（記念章につ
き近づくこと）（密復代價品
「ライツ・システム」七十四聖典
の力で、より方法が「新しい」
力をもたせようか、または、史
料の概念と全「ナチ」を削ぎ
捨て切れぬ。（本邦助教授改

念ひながら現職で仕事をする
なくてはならない。

一般に、人間行っている仕方が
定まらぬものである。計算機を
利用してゐる場合には、これは
本當動化が可能となる。今の
計算機システムは、関六の計測
機械において、各利用者の計算
用データペーパーを生成させる能
力が高機能設備として用されて
いる。そこで、私のカードファル
ムを高度自動化したいと考へる
には、計算機を利用する
準備が必要である。計算機を用
いた変化ができれば、種々の「
データベース」整理利用に情報系
が手帳にすぎなくなるのである。
私に使用しているカードシステ
ムについて色々と考へたことを
べて自分だけの必要ならばだけ
目録中の情報を削除しようと思
つてゐる。これからの「知能化」
道程の活用を探求することに
と考へている。（本邦助教授改

